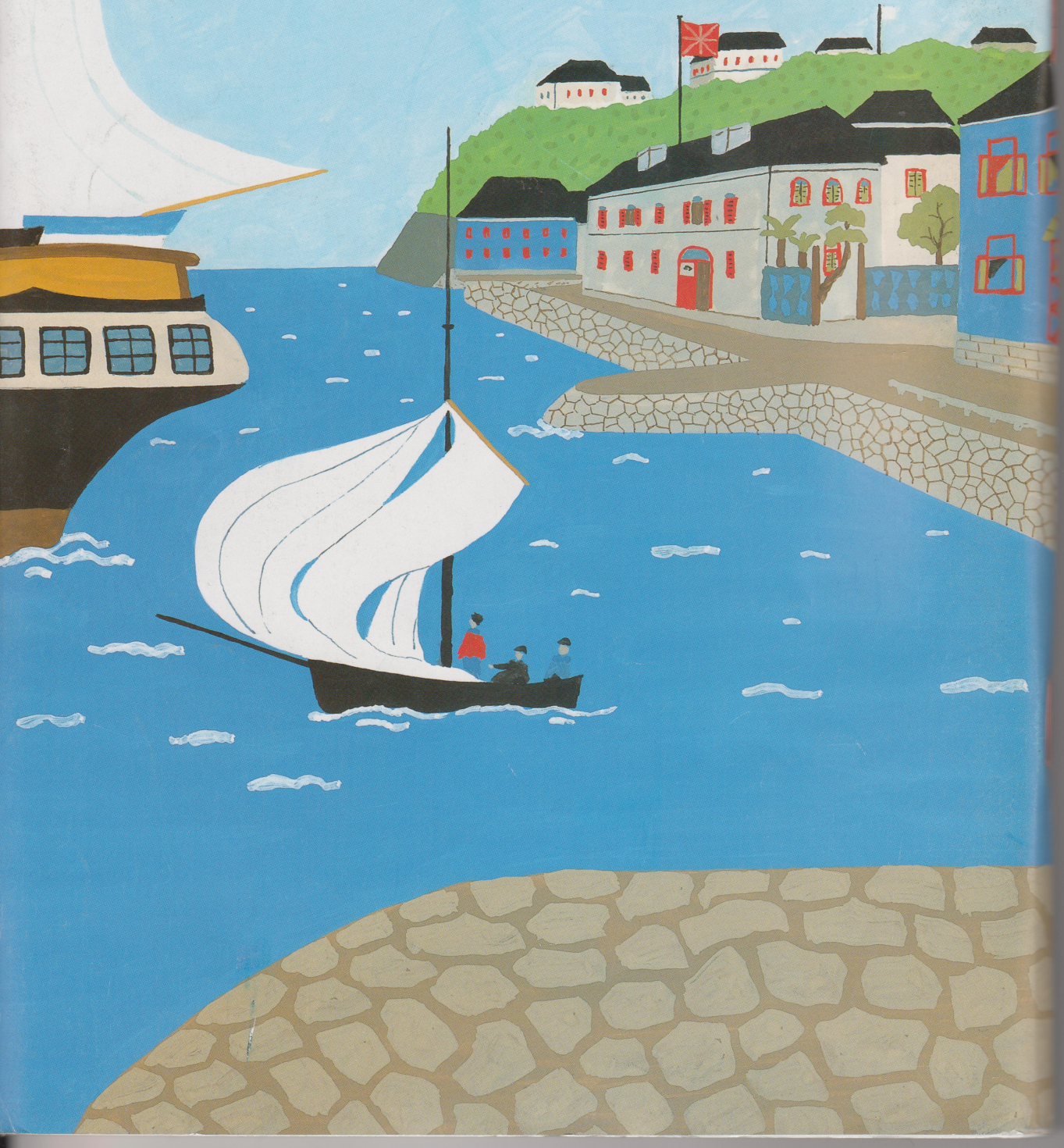


週刊文春

6月2日号 定価 320円



「女の」が明かす 全手口

黒木昭雄
ジャーナリスト

矢印の先のチューブの穴にカメラが

薄暗いモニターに何かの小刻みに動く様子が映し出される。この動きに同調するように「ガサガサ、ガサガサ」という乾いたノイズがスピーカーから漏れてくる。五分ほど経ってノイズがやむと、一気に視界が開け、別の世界が映し出される。淡い水色のタイルの壁、こもりながらも勢いよく流される水洗トイレの音。そして、木製のドアが開いた瞬間、女湯の脱衣所の風景が飛び込んできた――。

五月十三日、アダルトビデオメーカーの大手「なにわ書店」(大阪市)社長の茂崎晃容疑者(52)と、実姉で同社役員の長原裕見子容疑者(53)が約六千三百万円の法人税を脱税したとして、大阪地検特捜部に逮捕された。○一年六月から三年間に、実際には約四億一千万円の法人所得がありながら、約二億円と過少申告していたのだという。

このなにわ書店、業界では知らない人のいない日本の盗撮ビデオメーカーであり、業界関係者の間からは、この事件をきっかけに一気に盗撮犯罪の「実態」が明らかになるのではないかと、という声が聞こえてくる。なぜなら、なにわ書店で制作・販売されている「盗撮ビデオ」には、やらせではなく、ホンモノの盗撮テープが数多く用いられているからである。もし、当局が今回の脱税事件をきっかけに、なにわ書店で制作・販売されているビデオの身を精査すれば、同社の盗撮犯罪が一気に明るみ出る可能性があるのだ。

その証拠となる大量のテープを筆者は入手することに成功した。八十本にも及ぶデジタルビデオテープを保有していたのは、なにわ書店の配下で盗撮ビデオの編集を行っていたディレクターの田中太郎氏(仮名)である。このテープを素材に作られたビデオが、なにわ書店で販売され、市場に出回っていたのである。

田中氏はそのビデオの山から無造作に一本を取り出し、デッキにセットした。そして、映し出されたのが冒頭のシーンなのである。「ガサガサ」という音はなん

ですか?」

と、尋ねると、「犯人がトイレで、撮りテープをカメラに入れて、録画ボタンを押した瞬間ですわ。カメラを包むタオルがマイクにこすれる音がノイズになるんです」

と、答える。撮りテープとは、盗撮犯が実際に撮影したテープのことで、まだ何も加工が施されていない生のテープである。

この映像は、女性の盗撮犯が外付の超小型CCDレンズを取り付けた高性能ビデオカメラを使って、日帰り温泉で撮影したものだという。右に左に向きを変え、レンズの動きから、「獲物」を物色している盗撮犯の視線が伝わってくる。

モニターから突然子どもが飛び込んできた。おそらく、浴室から出てきたのだろう。これを受け

るようにカメラが足早に動き偽装カメラは床の上に置かれた。レンズは一瞬、全裸ではしゃぐ女児を捉えたが、すぐにしゃがみ込んで女児に声をかける全裸の女性の姿に向けられる。母親にしては若すぎる。またまた子供好きの女子大生か。OLが声をかけたのだろうか? もちろんモザイクなどの加工はない。あられもない、無防備な女性の全裸の姿が映っているだけだ。

ふと画面が右に流れると、ハイティーンの少女が長い髪をタオルで拭いている。時にあどけない少女の視線がカメラに向くが、まったく盗撮に気づいている風はない。そして時間を気にするかのよう時計を見上げてスポーツブラを頭からかぶった。

「この娘は商品にならないんですわ」

小誌四月二十八日号で和歌山県白浜温泉での盗撮の実態を報じたが、五月十三日、日本一の盗撮ビデオメーカー社長が脱税容疑で逮捕された。この業者、温泉ばかりか銭湯でも盗撮を繰り返していた。その驚くべき手口を、実行犯の女性とディレクターが懺悔告白する。

「盗撮実行犯」

アナタは「銭湯」で こうして覗かれる

元ディレクターの田中氏（仮名）

田中氏が横で声を上げる。少女の胸の張り具合と体型などから、自分が編集する立場ならこの少女の映像は使わないというのだ。「もし万一捕まったら、必ず児童ポルノで警察に持っていかれる。成人女性の盗撮なら問題ないが児童ポルノとなるとこっちも痛い」つまり、盗撮ビデオを作る側にとって気をつけるべき点は、法律上厳しく規制さ

銭湯も盗撮現場に

80本もの「撮りテープ」
となにわ書店の商品

大きいと田中氏は言う。撮り手の女はとかく若くてきれいな娘を狙えばいい商品になると考えるが、それは素人考えなのである。被写体がどんなに良い素材でも、明らかに中学生や高校生とわかる女の子は、

タイトルに合わせたビデオを作る元盗撮ディレクターだからこそ、盗撮犯の腕の良し悪しがわかるのだ。盗撮ビデオの出来は撮る側のセンスによるところが

盗撮がバレて警察を呼ばれた

実際に、盗撮を摘発できる条例を持っているのは全国で八都府県だけで、罰金だけですますケースも多い。画面に目を戻すと、ひと

れている「女兒」の裸だけなのだという。九九年に施行された児童買春・児童ポルノ禁止法で、十八歳未満のヌードは一切ご法度となり、制作や販売した者には最高で三年の懲役が課される。「それに対して、盗撮を取り締まる迷惑防止条例なんて、所謂立小便みたいなもので、罪じゃない」（田中氏）

しきり脱衣所のシーンを撮り終えたのか、盗撮犯は浴室に向かっていた。「この女、うまいわあ……」

田中氏が声を上げた。「浴室は周囲に鏡があるのでも、下手クソな女は鏡に自分の顔を映してしまう。でも、この女はうまい具合にカメラを反転させてよけている。プロや」

盗撮テープの中には、カメラに自分の姿が映っていることに気づき、犯人が横つとびでレンズから逃れる姿が映っているものもある。

児童ポルノの観点から、編集段階でマスターテープから外さざるをえない。これも、摘発された場合の量刑を念頭においたプロならではの感覚なのだ。

トイレ、温泉、公衆浴場に日常化してしまったかのようだが、盗撮事犯をここまで増加させた原因は、盗撮機器の進歩だけではない。確かに機器は日進月歩で

進歩している。たとえば、外見からでは容易に見分けることの出来ないボタン型の偽装レンズや、直径数ミリ程度の穴があれば十分に盗撮可能なピンホールレンズなど。しかし、それよりも、むしろ撮り手の腕と、ディレクターの編集技術が巧みになった結果なのだと田中氏は言う。

かつて盗撮に手を染めたことのある三十代の女性に話を聞くことができた。「女の友達に『絶対にばれないから』と言われて始めました。アルバイトよりもお金がいいし、二年くらいはやりました。機械の操作は、先輩の女の子に教えてもらいました。自宅や友達の部屋で、カゴに隠れたカメラをコードでテレビにつなぎ、友人をお客に見立てて練習したんです。

難しいのは被写体との距離ですね。理想的なのは顔を集中的に映して、そのあと身体の隅々にレンズを向けること。相手の顔が映っていないと、ボツにされてしまうんです。撮影したテープは十本単位で業者に渡

すんですが、あまり内容がないと勉強してへんな！』って小言を言われます」

実際に、銭湯や温泉で盗撮を行う際の手順について彼女はこう言う。

「まず、できるだけかわい子を見つけて脱衣所で撮影し、洗い場でその子の横に座り、相手が洗い終わってから立ち上がるまで粘ります。理想は、十八歳くらいから二十四、五歳の女性。もちろん、ブスや太った女性、胸の小さい女性は対象外です。だいたい、脱衣所三十分、洗い場一時間、脱衣所三十分ぐらいの時間配分で撮影しましたね。」

撮影中にカメラのレンズがくもるので、時々綿棒で拭きます。最初の頃は、せっかくなので撮ったのにビデオは湯気で真っ白ということもありました。あと、警戒す

るあまり従業員をジロジロ見ると疑われるので、従業員の動きにはさりげなく注意していました。

あまり長居すると怪しまれるので、一日に三軒ぐらいの銭湯をハシゴしたこともあります。盗撮現場には基本的には一人で行きますが、友人を誘って行ったこととあります。二人で行けば、一人が見張りに集中できて安全だし、仲間がいると罪悪感が減るという面もあるんです。あと、現場で別の盗撮犯に遭遇したこともありましたね」

彼女は一度だけ、盗撮がバレてしまったことがあるという。

刑事に「盗撮は安い」と言われた

彼女は、意外にも警察が盗撮行為に甘いことを知り、以降はより大胆に撮影を行うようになったという。

数年前に足を洗ったが、その後もスパー銭湯などに行く、女性客の持ったカゴが気になることも言う。前出の田中氏も数年前に業界から足を洗った。

「相手の女性から『あんた盗撮してるんでしょ？』そのカゴにカメラが入ってるんと違う？』と言われて、カゴを取られそうになっ

た。カゴの中を見られたら終わりだと思って、私は『なにすんの！』と言って、カゴの取り合いになったんです。そしたら、相手が転んで洗い場の蛇口に頭を打って血が出てしまったんです。逃げようとしたんですが、従業員に警察を呼ばれてしまった。相手の女性は盗撮されたことも警察に喋ったんですが、警察はあまり興味を示さず、結局、私は傷害罪だけで書類送検されたんです」

「現役の頃はかれこれ千五百タイトルは作りました。一日に一本で、月に三十本ぐらいですかね。モザイクを入れると時間はかかるけど、テープを編集するだけの作業なら一本五時間ぐらいでできます。でも、あらためてこうして見ると、自分

はホンマにひどいことを

してきたんだなと思

います。年端も行かない子までもこうして裸を映されて、その上本人も被害に遭っていることを知らないんですから。親がこの事実を知ったら、と思うとね……」

その田中氏が、なにわ書店の盗撮ビデオの仕組みを告発する。

「僕自身が撮り手の女の子を雇った時期もあったんですが、主には『なにわ書店』社長の配下だったA氏から頼まれて、撮りテープの編集をしていました。タイトルも自分で考え、撮りテープの中からそれに見あった画像を集めるんです」

田中氏はA氏が女性の実行犯に撮らせた膨大な「撮りテープ」の中から、売れ筋と思しき被写体を抜き出したマスターテープを作り、そこに「ギャル編」「熟女編」などのタイトルをつけ、A氏に戻す作業をしていた。

今度は、A氏がそのマスターテープを販売用のビデオ

清流の風情

両

清

御菓子所 両口屋是清

創業三百七十年

名古屋市中区丸の内三丁目14-23
www.ryoguchiya-korekiyo.co.jp

オに仕立て、大量になにわ書店に卸す。そして、なにわ書店が自社ブランドとして全国のアダルトショップに流していくという仕組みだった。

「万一、なにわ書店に警察の捜査が入ったとしても、『制作会社がヤラセのニセモノだと言うので買い取った。うちに責任はない』と言い逃れができる仕組みなんです。でも、A氏は、なにわ書店の社長の配下だった人物で、A氏の制作会社の資金もすべてなにわが出していたんです」(田中氏)

今回、なにわ書店の盗撮モノのビデオの現場となった場所を三軒、特定することができた。それは、関西



なにわ書店のビルと茂崎社長

圏にある一般の公衆浴場、つまり銭湯だった。

銭湯はたまたま訪れる観光地の温泉とは違い、古くから地域に密着しているだけに、利用する客は限られる。ビデオから盗撮場所がわかれば、ビデオに映っている被害者も特定される可能性が高い。つまり、悪意を持った輩が被害女性の裸をネタに恐喝を行うなど、二次犯罪に発展する可能性も十分考えられるのだ。

銭湯の経営者は、こうした問題についてどう考えているのだろうか。盗撮の現場となった銭湯の店主の一人に、ビデオの画像を見せると、自分の銭湯であることを認めた上で

こう話し出した。

「盗撮があることは前から知っていました。犯人を捕まえたこともあれば、取り逃がしたこともある。警察には何度も被害の実態を説明しているんです」

この銭湯では、至るところに防犯をうながす張り紙が掲げられている。受付台の裏側には三台のモニターが設置され、それぞれ四分割された画面で、館内の隅々に目を光らせてもいる。

「男湯はぜんぶビデオを撮れるけど、女湯は撮れないから、どうしようもない。だから、巡回のおばちゃんを必ずつけて、『おかしなカゴを持ってたら中を見ろ』と言ってある。それで

犯人を捕まえたこともあるが、そこまでやっても、盗撮犯罪は減らないんや……」

いくら徹底した防犯態勢を敷いても、結局はそれを取り締まる側の警察の手ぬるさが再犯を許しているのだという。

実は、前出の田中氏も、業界から足を洗うときに自らの罪滅ぼしの意味を込めて、盗撮犯罪を示す証拠物件を携えて大阪府警に「自首」しているのだ。

田中氏が語る。「なんやかんやと二時間も調べられましたが、結局、『もうええぞ』って刑事に帰されたんです……」

田中氏が続ける。

「刑事は『盗撮は安い』って言うんです。『首なしでもいいからチャカの話はないか』って言うんですよ。結局、警察は点数にならないと動かないんですわ」

前述したように、盗撮は二次犯罪を呼ぶ可能性もあるのだが、これでは、警察が盗撮を「黙認」していると言われても仕方がない。警察だけではない。「公衆浴場」の監督官庁である厚生労働省も、増え続ける盗撮被害に有効な手立てを考えている様子はない。

だが、ここに来て、議員立法で盗撮や盗撮ビデオの販売を禁じる「盗撮防止法案」（仮称）成立を目指す

動きも出てきた。

自民党の「盗撮防止法ワーキングチーム」事務局長の世耕弘成参院議員が言う。「盗撮行為そのものに懲役刑を含む重い刑罰を科すほか、販売した者にも刑罰を設け、浴場などの公共施設にも盗撮行為を防止するよう努力規定を設けようと考えています」

世耕氏によると、法案の骨格も完成し、既に具体的な項目の策定作業に入っているという。今国会に法案を提出し、できれば成立をも目指したいと意気込む。

これ以上、盗撮の被害者を増やさないためにも、早期の法案成立を期待したいものだ。

抜けても生えて伸びる超精密自毛ナチュラル植毛



女性にもビジネスにも積極的に！

- ★種々自然でバレない!
- ★自分の髪が生えて伸びる!
- ★一度に6000本の植毛も可能!
- ★移植毛の定着率ほぼ100%!
- ★人工植毛後の修正植毛もOK!

あらゆる薄毛のタイプに対応可能

…限りなく自然で生え際の微調整も可能な単一植毛も包括した「バンドル植毛」

…元々ハゲにくい性質を持つ後頭部などの髪を、毛根ごと生きたまま移植するので、抜けても自然に再生し、健康毛のヘアサイクルを繰り返します。

…ダメージがない超精密ナチュラル植毛。経験豊富な熟練スタッフが最高の結果をめざして、親身のご相談をします。

…従来の植毛法とは違い、周辺の残存する髪と違和感のない豊富な密度、プロの理容師が見ても気付かないほど自然な生え際が再現できます。激しいスポーツや洗髪もOK。ヘアスタイルも自由自在です。

…アナタの予算やスケジュールに合わせて少数本ずつステップアップ植毛していくこともできます。

モニター募集中!

Eメール相談受付中 shokumou-b@ac-k.org ホームページ http://www.jimou-shokumou.com/

自毛植毛専門センター

相談無料 お問合せの際、ご予約は必ずお伝え下さい。

0120-73-1501

〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町1-40 ニコニコ堂ビル7F

大宮 宮崎ビル 大東 大宮ビル

資料請求券 S.b

次号(6月)の10月号(6月1日(水)発売)一定価6000円です